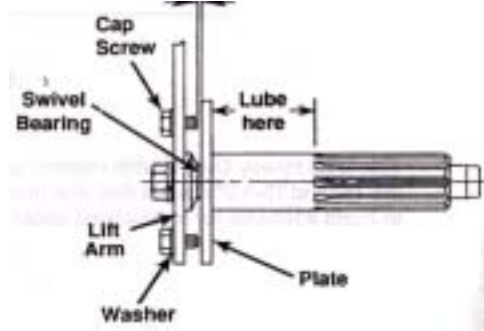
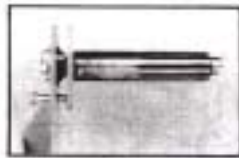


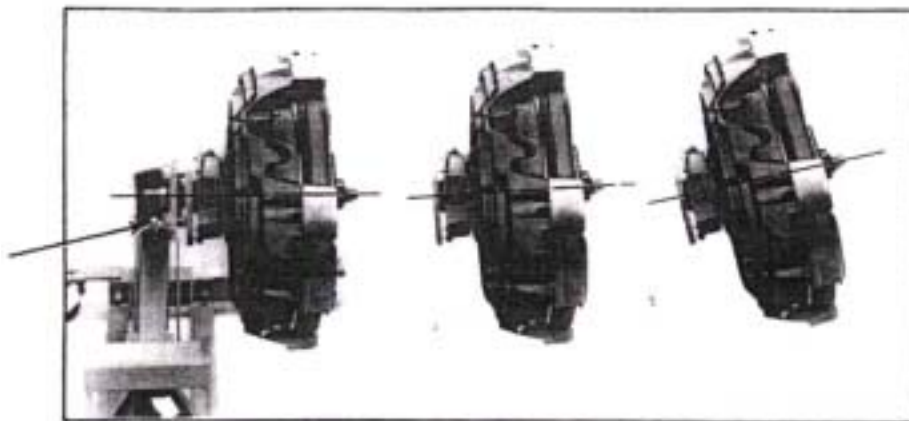
EA993R

(トラッククラッチ & フライホイールハンドラー)

- 積載荷重 68kgまで
 - 重量 43kg
 - 最大揚げ幅 228 ~ 939mm
 - スプラインシャフト 2"付
 - サイズ 940 X 595 X 255mm
- 当製品は14"と15 1/2"のダブルディスククラッチやフライホイール組品を脱着するように設計されています。
- 安全のために
- ・作業者は必ず保護メガネを着用してください。
 - ・当製品の使用荷重を超えないでください。
 - ・当製品は荷物を積んだまま必要以上に高く上げて動かさないでください。
 - ・コーナーを曲がる時は慎重に動かしてください。
 - ・圧力解除はゆっくりと行ってください。
 - ・アダプターは取扱説明書に従って使用してください。
 - ・ユニットやアダプターを加工しないでください。
 - ・リフトアームを上下する際は本体のピンチポイント部分に邪魔になる物を置かないでください。
- 組立
1. 脚(#3)をネジ7/16-14X1 1/4" (#21)で取り付けます。ハンドルホルダー(#23)も取り付けます。ワッシャー(#2)とナット(#1)を4つ使用します。
 2. 脚にスィベルキャスター(#30)を取り付けます(4箇所)。ワッシャー(#2)とナット(#1)を4つ使用します。
 3. 1/2-13X1"ネジ(#13)2個を上部リフトアームに取り付けて固定します。
 4. 上部リフトアームに調整ネジ(#5)を取り付けます。
 5. 上部リフトアームのスィベルベアリングのレースや可動部に先の細い物を使って、上下左右に注油してください。
 6. 上部リフトアームのスィベルベアリングに5/8-11X2-1/2" (#14)のネジとワッシャー(#15)を取り付けます。図の方からプレート(#16)をはめ込みます。最後にスプラインシャフト(#17)を差し込み、ねじ込み固定します。
 7. プレート(#16)とネジ(#13)の距離を確認してください。1/16"以下の時はネジ(#13)を外しワッシャー(#7)をリフトアームとネジ(#13)の間に入れてレンチで締めます。(図1)
- 
- Figure 1
- 
- Figure 2
- 
- Figure 3
- クラッチの取外し
1. 本体に適切なスプライン差込シャフト(2"或は1-3/4"(別売))を取り付けます。
 2. スプライン差込シャフトに図1の部分に適切に注油しておきます。
 3. 乗物の下に、本体を入れる余地がない時は乗物を上げて本体を乗物の下に入れてください。
 4. 乗物のクラッチ組品との角度と差込シャフトの角度が合うように調整ネジで調整します。(図2, 3)
 5. ホルダーからジャッキハンドルを外し、ジャッキに取り付けます。上部リフトアームが適切な高さになる様、ジャッキを操作しクラッチ組品に差込シャフトを差し込みます。アームプレート中央の大きなボルトを時計方向に回してスプラインシャフトとクラッチディスクを接続します。必要に応じて差込シャフトが真っ直ぐになるように調整ネジを調整してください。クラッチ組品を外す前にクラッチ組品がスプラインと完全に接続している事を必ず確認してください。
 6. フレッシュプレートの取付けボルトを外します。
 7. 本体を引いてフライホイールからクラッチ組品を離します。
 8. クラッチ組品を床に降ろすために本体の油圧をゆっくり解除します。

○ 15-1/2"クラッチの取付け

1. 差込シャフトの注油部分(図1参照)に適切に注油しておきます。
2. 本体差込シャフトにプレッシャープレート、クラッチディスク、スペーサーを取り付けます。
重要: 差込シャフトはクラッチ組品全部を貫通していなければなりません。
3. 乗物の下に、本体を入れる余地がない時は乗物を上げて本体を乗物の下に入れてください。
4. 乗物のクラッチ組品との角度とフライホイールの角度が合うように調整ネジで調整します。(図4)
5. ホルダーからジャッキハンドルを外し、ジャッキに取り付けます。上部リフトアームが適切な高さになる様、ジャッキを操作しフライホイールのパイロットベアリングに差込シャフトのパイロットを差し込むため、本体を前進させます。
6. フライホイールにクラッチをボルトで取り付けます。
7. リフトアームの油圧を少し解除します。注意: クラッチ組品から本体を外すのは非常に難しいので調整ネジを使用して差込シャフトを真っ直ぐに調整してください。
8. 本体を引き、上部リフトアームを床面までゆっくり降ろすように油圧を解除してください。



○ 14"クラッチの取付け

1. 差込シャフトの注油部分(図1参照)に適切に注油しておきます。
2. ポットタイプのフライホイールに図5のように新しいフロントクラッチディスクと中間プレートを置きます。
3. 本体スプラインシャフトにプレッシャープレートと新しいリアディスクを取り付けます。
4. 乗物の下に、本体を入れる余地がない時は乗物を上げて本体を乗物の下に入れてください。
5. 乗物のクラッチ組品との角度とフライホイールの角度が合うように調整ネジで調整します。(図4)
6. ホルダーからジャッキハンドルを外し、ジャッキに取り付けます。上部リフトアームがフロントディスクスプラインに連結する高さまでジャッキを上げます。本体プレートの中心にある大きなボルトを時計方向に回して差込シャフトとクラッチディスクを連結させます。
注意: フライホイールのフロントクラッチディスクはパイロットベアリングのセンターラインより若干低くなっています。パイロットベアリングと差込シャフトを正しく揃えるためには上部リフトアームを上げる必要もあります。
7. フライホイールにクラッチをボルトで取り付けます。
8. リフトアームの油圧を少し解除します。注意: クラッチ組品から本体を外すのは非常に難しいので調整ネジを使用して差込シャフトを真っ直ぐに調整してください。
9. 本体を引き、上部リフトアームを床面までゆっくり降ろすように油圧を解除してください。

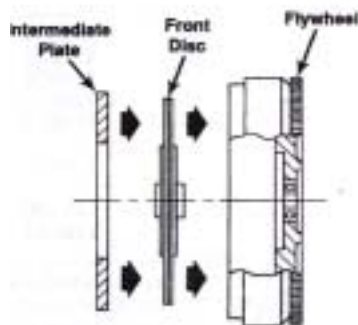


Figure 5

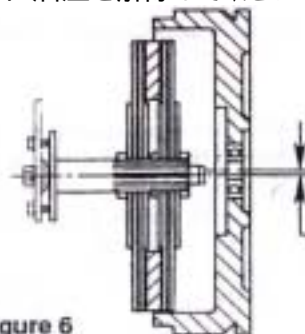


Figure 6

